

いなかのりんじん
あぐろげいとーん

編集：九州教区教会協力委員会

※あぐろげいとーん：ギリシア語で「田舎の隣人」の意味。都会の隣人と違い、互いに支え助け合う仲間となることを願って。

サスティナブル

持続可能な教会を

教会協力委員長 深澤 奨

互助の持続・教会の持続

2016年度の互助申請が出そろい、現時点では12教会に対し約2020万円の教師謝儀保障がなされる見通しとなりました。これに教区による人事が進行中の1教会を加えると2200万円ほどの規模となる可能性もあります。互助負担金と互助献金を合わせた原資が2100万円ほどですから、いよいよ支出が原資を上回り、積立金を取り崩しながらの運営という状況を迎えることとなります。制度をいかに維持するか、それはとりもなおさず教会をいかに存続させていくかという困難な課題をつきつけられています。

教会をいかに持続させていくか、皆さんもさぞお悩みのことでしょう。わたしも暇さえあれば、これからの教会の歩み方について考えるのですが、絶望も悲観もしていません。今のままの教勢や財政を保ち続けることはどだい無理なことですが、福音にふさわしく楽しんで縮小均衡を保っていくことは案外可能なのではないかと根っから楽観主義なわたしは考えています。

半農半X

そこで最近わたしが考えるヒントにしているのが「半農半X」というライフスタイルです。今や「世界の共通語」(藻谷浩介談)ともなりつつあるこの言葉の生みの親、塩見直紀さんは、かつて神学を志したこともあり、座右の銘は内村鑑三の「後世への最大遺物」だと言いますから、読んでいてわ

た私たちの信仰に響く言葉がたくさん出てくるのも、頷けることです。

「半農半Xという生き方【決定版】」(塩見直紀 ちくま文庫)は、消費一辺倒のゆがんだ社会を正し、持続可能な社会をもたらす理想的なライフスタイルとして、農業を

しながらそれぞれの与えられた能力を発揮できる副業(福業!)を持つ生き方、「半農半X」を提案します。半農半著、半農半芸、半農半ヘルパー、半農半教師など、「X」に当たるものは実に多様



で、それは生活に必要な現金収入をもたらすだけでなく、社会との濃密な関わりや、その人自身の生き甲斐をももたらします。

教会も福業を

これを読んで、またもやわたしの悪い癖で、「半農半X」を教会と結びつけて考えてしまいました。農業をやりながら福音伝道をする、ということもあり得るかと思いますが、そういうことではありません。「農」に当たる部分を教会の本来の仕事である伝道教会と考え、それ以外に何らかの仕事(X)を持つというあり方です。

教会の業は、そもそも農の業と似ています。土地(社会)を耕し、石ころや瓦礫を取り除き、種を蒔き、水や肥料を施して、やがて神の国に刈り取られていくときまでその成長を助けていくのが、わたしたちの福音宣教・伝道教会の仕事です。しかしそ

の本来の業だけで食べていくのが困難ならば、それぞれの特技や才能を活かしてXを、塩見さんが言うところの「福業」を持つことも必要なのではないかと思うのです。パウロが革なめし職人でありつつ伝道者であったように。

月3万円ビジネス

さてそんな思いに火をつける好著が「月3万円ビジネス 非電化・ローカル化、分かち合いで愉しく稼ぐ方法」、「月3万円ビジネス 100の実例」(ともに藤村靖之 晶文社)の2冊です。

「月3万円ビジネス」は、月に3万円しか稼がない、稼げないビジネスで、7つの約束を掲げています。「①いいことしか仕事にしない②奪わないで分かち合う③支出を減らす④ノーリスク⑤(月に)2日しかかけない⑥みんなで生み出す⑦インターネットでは売らない」の7つ。もちろん月3万円では暮らせません。だから3つ、4つを掛け持ちする。すると地域の仲間も3倍4倍になる。これは単なる副業ではなく福業でもあり複業でもあります。

各地区互助推進担当者のお働きについて

教区互助の働きについて各地区においてアピールし協力の輪を広げ、推進していくため、各地区には互助推進担当者を選任していただいています。九州教区では2年に1度、各地区の推進担当者にお集まりいただき、それぞれの取り組みや工夫、悩みを分かち合い、励まし合う互助推進担当者会を開催していますが、今年は開催されない年度です。そこで、この互助推進担当者のお働きについて、今回はこの紙面で説明させていただきます。

各地区の互助推進担当者の皆さんに担っていただいている第一の、そしてほとんど唯一のお働きは、地区内の諸教会、教師、信徒の皆様へ互助献金への参加と一層のご協力を



ちなみに筆者は「佐世保教会裏庭木工所」と「佐世保教会裏庭養蜂所」の二つの福業を営んでいます。「100の実例」を読むと、あと3つくらい手がけてみたい気持ちにもなります。中世の修道院が葡萄園や養蜂を営んだように、何か教会らしい福業を編み出すことができたなら、仲間も増え、認知度も上がり教会の伝道にもまた新たな風が起るのではないかと思うのです。

これからの時代、教勢低下と財政逼迫に手をこまねくばかりでなく、あらゆる知恵と手段を尽くして教会の持続を可能にしていきたいと願うものです。[Ω]

呼びかけることです。各地区の信徒大会や研修会、総会などの集まりに出かけていき、アピールの時間を取ってもらい、集まった教師と信徒の皆さんに互助献金や緊急援助金献金などのアピールをしていただく。こう書けば簡単そうですが、大勢の前でしゃべる、しかも献金のお願いをするというのは、結構度胸のいることです。地区によっては、独自に呼びかけのチラシを用意してくださっているところもあります。本誌、互助通信を増刷して配っていただいている地区もあります。

それぞれ工夫し、勇気を振り絞って呼びかけをしてくださる互助推進担当者のお働きを、どうぞ各地区において応援いただきたいと思えます。しらーっとした雰囲気の中で呼びかけなければならぬようなことのないように、温かく受けとめ、積極的に応答していただければ幸いです。



「守りたい花」

教会協力委員
唐津教会 中山契生

これまで軽やかだったはずの教会への道のりを、一步一步、握りしめた杖で確かめながら通うお一人お一人。もはや聞くことさえままならぬとも、手の平を添えて耳を傾け、御言葉に聴こうとするお一人お一人。そんなお互いは、かつてできた事ができなくなってしまうもどかしさの中で、それでも教会の台所に立ち、トイレを磨き、講壇に花を飾ります。通りすがりの来訪に一喜一憂しながら、尚も誰かを迎えたいと粘り強く祈り続けて。それがたとえ一月先、一年先となるうとも。

互助により兼牧する唐津教会と相知伝道所の主の日の風景です。二つ合わせても毎週朝と夕べ平均6名弱の礼拝。子どもたちや若者の汗ばむような熱気はないけれど、静けさの中に、些細なことをひとしおの喜びとして共に味わい、達観したおおらかさで労苦を分かち合うその姿は、感慨深く私の胸を打ち、気づきを与え、むしろこの若造を励ましてくれます。その姿が織りなす風景は、決して悲観すべきものではないのだと。むしろその風景は、「主の家に帰り、生涯そこに留ま

る」ことをゆるされた限界ある私たちへの福音を証ししているのではないかと。

そんな福音に生きるお一人お一人の信仰生涯が、皆さんの尊い献金から成る互助によって支えられています。世にあって明日は炉に投げ捨てられる草花を愛された主の尊びを示し、粘り強いたくましさを与え、弱さと小ささの中になお希望の明日を描かせながら、、、

本当に感謝に尽きません。そして、だからこそ自らの限界にはばかりならず、この互助の業を皆さんと共に益々奮起したい。何故なら、私たちだけではない彼の野にも、握りしめられた杖、耳に添えられた手の平が、朝に夕に主の日を彩る証しの花を咲かせているだろうからです。



どうか、この業のために皆さんの祈りと支えが結集されますように。知恵に乏しい稚拙な想いかもしれませんが、その一生懸命に咲く花が、実となり、新たな命の種となることを信じる私の心からの願いです。

今年度上半期の諸援助金執行状況

伝道費援助金

- ①久留米櫛原教会 チャペルコンサート演奏者謝礼・交通費のため 30,000 円
- ②瀬戸内教会 主日礼拝説教者、聖餐式司式者謝礼・交通費のため 100,000 円
- ③喜界教会 主日礼拝説教者謝礼・交通費のため 240,000 円
- ④名瀬教会 主日礼拝説教者謝礼・交通費のため 60,000 円
- ⑤小林教会 主日礼拝説教者謝礼・交通費のため 240,000 円

緊急援助金

- ①久留米櫛原教会 雨漏り被害に対する外壁補修工事のため 200,000 円

もらってうれしね

今回は教区事務所からの出品です。まだまだ使える FAX 電話複合機。ブラザーの MyMio MFC-630CD です。プリンター機能、コピー機能、スキャナー機能も使いやすく、とても便利です。インクカートリッジは4色独立染料インクで、100均の詰め替えインクも対応しているので、ランニングコストがほとんどかかりません。やけに詳しいじゃないのとお思いでしょう。実は全く同じ機種を筆者の自宅で使用しているのです。というわけで、これはとてもお勧めの機械です。お困りの方、お探しの方、是非どうぞ。



これまでこの欄に掲載したお品の、その後についてご報告しましょう。警固教会から出品された講壇用聖書は玖珠教会に、大牟田正山町教会から出品された高級折りたたみ椅子20脚は佐賀のシオンの園に、警固教会の西岡教師から出品のスーパーカブは武蔵丘教会の神田教師に、それぞれもらわれていきました。

今後とも、「探しています」、「譲ります」などの情報がありましたら、教会協力委員会までお知らせください。ささやかですが、これも教会協力のひとつです。

互助献金中間報告 (2015年9月末現在)

年度の半分が過ぎました。互助献金の中間報告をいたします。毎年年度終わりにどっと献げていただくことが多いので、単純には言えませんが、半期が終わって目標額の3割に満たない達成率です。ただし昨年度の同時期と比べますと50万円ばかり上回っていて、このペースでいけば年間で100万円の上乗せができる計算になります(それでも目標達成には至らないのですが)。特に教師互助献金の伸びが著しく、頼もしい限りです。でもね、ほんとの実力はこの程度ではないはず。今後とも、すべての教師が収入の1%を目標に互助献金を献げられるよう、努めてまいりましょう。教師互助献金が所期の目標を達成すれば、必ずや年間1100万円の目標は達成されるのです。なにとぞ、今後一層のご協力をお願いいたします。<(_)>。

教師も信徒も、信仰をもって、連帯の喜びをもって、献げてまいりましょう。

2015年9月末現在

昨年同月

教会互助献金 **2,778,280円**

2,281,810円

うち教師互助献金 **566,600円**

312,800円

